

わたしから始まる高知の食育

～毎月19日は「食育の日」～



土佐のうまいもんにみんなが注目！

リクルートじゃらんリサーチセンターが全国で約1万5千人を対象に行った「じゃらん宿泊旅行調査2020」では、国内旅行先として「そこならではの食・特産品に興味があったから」という理由で選ばれた都道府県ランキングでは高知県が7位、「地元ならではのおいしい食べ物が多かった都道府県」ランキングでは5位を獲得しており、「土佐のうまいもん」が多くの観光客を集めていることが分かります。

高知市内では、そんな高知の食の豊かさに触れ、存分に味わえるイベントが四季折々に開催されており、観光客の方も地元の方も、多彩な高知の食を堪能できると好評です！

“土佐の豊穡祭～土佐國美味集結～”

毎年秋に県内各地で開催される食の祭典“土佐の豊穡祭”。高知市会場は10月24日（土）・25日（日）・26日（月）に中央公園で開催されました。サブタイトルのとおり、土佐の美味しいものが集結するイベントで、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとったうえでの開催となりました。ステージイベントや高知ならではの溢れたグルメ、ドリンクラリーなど、今年の食の祭典も大いに盛り上がりしました。



“土佐の「おきゃく」”

高知の言葉で「宴会」を意味する「おきゃく」は、家族も友人も、そして初めて会った人も分け隔てなく「献杯」でもてなし、ともに美味しい料理と酒を囲む文化です。自由で賑やかなスタイルには、土佐のおもてなしの心が凝縮されています。

年に1度の“土佐の「おきゃく」”は、高知の街を会場にした大きな宴会のようなイベントで、高知の春のイベントとしてすっかり定着しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとったうえで、食や音楽、オンラインイベント等を令和3年3月上旬の4日間で開催を予定しています。

高知の暮らしに深く結びついた「おきゃく」で、高知の食を心ゆくまで味わってみませんか。

